

「北海道の道路緑化指針（案）」を改訂しました

地域景観ユニット

北海道における道路緑化指針(案)を改訂し、平成28年版として公表しました(写真-1)。

本指針は、北海道の道路緑化について網羅的にとりまとめたものですが、昭和62年の発行からすでに30年近くが経過し、社会情勢の変化に伴い現状に即しない記載事項が見受けられるようになっていました。

例えば、多くの外来種が選定樹種に挙げられており、そのうちニセアカシアは成長が旺盛で在来種を駆逐することなどが問題となり、現在では産業管理外来種に指定されています。

また、平成16年に景観法が施行されましたが、その前年には国土交通省は「美しい国づくり政策大綱」により事業における景観形成を原則化させ、道路における景観形成の社会的重要性が高まりました。

さらに、国土交通省においては、健全度が低下した街路樹の更新や、メリハリをつけた街路樹の維持管理、地域の特色ある創出に向け、平成27年3月に「道路緑化技術基準」の改訂版を告示し、平成28年3月には「道路緑化技術基準・同解説」が発行されました。

このような社会情勢の変化に対応するため、道路行政担当者、有識者等を構成員とする「北海道の道路緑化指針(案)改訂検討会」(表-1)が設置され、改訂内容の検討を行いました(写真-2)。その結果、道路緑化に関する基本的な考え方を環境や景観に対する社会的要請の変化に対応するように見直すとともに、新たな知見に基づく技術的な整備・管理の変革、そして当ユニットの研究成果である「管理目標樹形による維持管理」も取り入れて、平成28年版として改訂しました。管理目標樹形についての詳しい内容は、本報に〔解説〕が掲載されていますので、そちらをご覧ください。

本指針が、緑化の設計、施工に活用され、道路空間の質的向上に貢献することを期待しています。

入手方法

本指針は、以下のサイトからダウンロードできます。
アドレス <http://scenic.ceri.go.jp/manual.htm>

(文責：佐藤 昌哉)



写真-1 北海道の道路緑化指針(案)【平成28年版】

表-1 改訂検討会構成員(H28. 3)

北海道の道路緑化指針(案)改訂検討会 構成員		
座長	佐藤 昌哉	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット 主席研究員
構成員(五十音順)	河上 聖典	北海道開発局建設部 道路維持課補佐
	神崎 亨	北海道建設部建設政策局 維持管理防災課 維持グループ 主幹
	小松 正宏	東日本高速道路株式会社 北海道支社技術部 技術企画課 課長代理
	斎藤 新一郎	環境林づくり研究所長
	清水 一	(地独) 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場 緑化センター長
	住岡 栄悦	北海道開発局建設部 道路建設課長補佐
	田川 清志	札幌市建設局総務部 道路管理課長
	近添 幸司	北海道開発局建設部 道路計画課長補佐
	西川 英一	札幌市環境局みどりの推進部 みどりの推進課長
	笠 康三郎	有限会社 緑花計画 代表取締役
	渡辺 亮	北海道建設部土木局道路課 道路整備グループ 主幹
事務局	松田 泰明	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット 総括主任研究員
	藩澤 英範	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット 主任研究員
	小栗 ひとみ	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所 地域景観ユニット 主任研究員



写真-2 改訂検討会での検討状況